

ff 2
B1
02-12-02

ATTORNEY DOCKET NO. Q67261
PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of:

Yoshiharu SASAKI

Appln. No.: 09/987,362

Group Art Unit: 2852

Confirmation No.: 7285

Examiner: Not Yet Assigned

Filed: November 14, 2001

For: RECORDING MEDIUM PACKAGE, FEED CASSETTE AND RECORDING APPARATUS USING THE SAME

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENTS

Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

Submitted herewith are certified copies of the priority documents on which a claim to priority was made under 35 U.S.C. § 119. The Examiner is respectfully requested to acknowledge receipt of said priority documents.

Respectfully submitted,

Darryl Mexic
Registration No. 23,063

SUGHRUE MION, PLLC
2100 Pennsylvania Avenue, N.W.
Washington, D.C. 20037-3213
Telephone: (202) 293-7060
Facsimile: (202) 293-7860

Enclosures: JAPAN 2000-346735
JAPAN 2000-346760

Date: January 29, 2002

RECEIVED
JAN 31 2002
TC 2800 MAIL ROOM



日本特許
JAPAN PATENT OFFICE

In re Yoshiharu SASAKI
Appln. No.: 09/987,362
Confirmation No.: 7285
Filed: November 14,2001
For: RECORDING MEDIUM PACKAGE, FEED CASSETTE
AND RECORDING APPARATUS USING THE SAME
Priority Doc 2 of 2 Atty Dkt.: Q67261
SUGHRUE, MION, PLLC
(202) 293-7060

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日
Date of Application:

2000年11月14日

出願番号
Application Number:

特願2000-346760

[ST.10/C]:

[JP2000-346760]

出願人
Applicant(s):

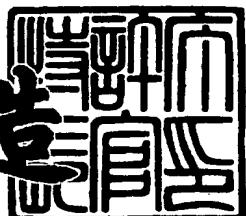
富士写真フィルム株式会社

RECEIVED
JAN 31 2002
TC 2800 MAIL ROOM

2002年 1月11日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3113138

【書類名】 特許願
【整理番号】 P-35521
【提出日】 平成12年11月14日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 B65H 1/26 310
【発明者】
【住所又は居所】 静岡県富士宮市大中里200番地 富士写真フィルム株式会社内
【氏名】 佐々木 義晴
【特許出願人】
【識別番号】 000005201
【氏名又は名称】 富士写真フィルム株式会社
【代理人】
【識別番号】 100105647
【弁理士】
【氏名又は名称】 小栗 昌平
【電話番号】 03-5561-3990
【選任した代理人】
【識別番号】 100105474
【弁理士】
【氏名又は名称】 本多 弘徳
【電話番号】 03-5561-3990
【選任した代理人】
【識別番号】 100108589
【弁理士】
【氏名又は名称】 市川 利光
【電話番号】 03-5561-3990
【選任した代理人】
【識別番号】 100115107

【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 猛

【電話番号】 03-5561-3990

【選任した代理人】

【識別番号】 100090343

【弁理士】

【氏名又は名称】 栗宇 百合子

【電話番号】 03-5561-3990

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 092740

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0003489

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 記録媒体用簡易カセット及びこれを用いる記録装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 記録媒体支持部材に搬送供給される受像シートと、該受像シートの受像層にトナー層が重なり合う方向となって前記記録媒体支持部材へ順次搬送供給される複数の転写シートとが収容された記録媒体用簡易カセットであって、

前記記録媒体を、記録媒体支持部材に搬送供給される順に積層して収容することを特徴とする記録媒体用簡易カセット。

【請求項2】 記録媒体支持部材に供給される順に積層された一組の記録媒体が、複数組積層されて収容されたことを特徴とする請求項1記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項3】 前記受像シートの受像層と、前記転写シートのトナー層とが相反する方向となって積層されていることを特徴とする請求項1又は請求項2記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項4】 前記記録媒体の相互間に、ダミーシートが挿入されていることを特徴とする請求項1～請求項3のいずれか1項記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項5】 前記記録媒体を収容するカセット本体と、該カセット本体に接触する前記受像シートの受像層、及び前記転写シートのトナー層との間に、ダミーシートが挿入されていることを特徴とする請求項4記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項6】 前記ダミーシートが、少なくとも前記記録媒体の一辺側からはみ出していることを特徴とする請求項4又は請求項5記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項7】 記録装置に設けられた記録媒体のピックアップ機構に当接する側とは反対側の辺から、前記ダミーシートがはみ出していることを特徴とする請求項6記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項8】 前記記録装置に設けられたピックアップ機構の当接する記録

媒体の一辺側が、前記ダミーシートよりはみ出していることを特徴とする請求項6記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項9】 前記ダミーシートのはみ出し部分を固定するためのダミーシート固定部材が、カセット本体に設けられていることを特徴とする請求項6～請求項8のいずれか1項記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項10】 前記カセット本体内での記録媒体の移動を規制する緩衝材が、前記ダミーシートとカセット本体との間に挿入されていることを特徴とする請求項5～請求項9のいずれか1項記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項11】 前記緩衝材が、無塵性スポンジであることを特徴とする請求項10記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項12】 前記カセット本体が、金属からなることを特徴とする請求項1～請求項11のいずれか1項記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項13】 前記カセット本体が、ボール紙からなることを特徴とする請求項1～請求項11のいずれか1項記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項14】 前記記録媒体を収容したカセット本体が、外装シートによって包装されていることを特徴とする請求項1～請求項13のいずれか1項記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項15】 前記外装シートに包装されたカセット本体の外方が、さらに化粧箱によって梱包されたことを特徴とする請求項14記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項16】 前記記録媒体の取り出し用に開口されたカセット本体の開口部が、開閉蓋によって開閉自在に覆われていることを特徴とする請求項1～請求項15のいずれか1項記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項17】 前記開閉蓋がカセット本体から脱着自在に設けられていることを特徴とする請求項16記載の記録媒体用簡易カセット。

【請求項18】 記録媒体を支持しつつ移送する記録媒体支持部材と、前記移送方向とは直交する方向に移動され前記記録媒体にレーザ光スポットを照射する記録ヘッドとを備えた記録装置において、

前記記録媒体が前記記録媒体支持部材に供給搬送される順に前記記録媒体を積

層して収容した記録媒体用簡易カセットを支持する簡易カセット取付台を備え、該簡易カセット取付台に取付けた前記記録媒体用簡易カセットから前記記録媒体支持部材へ記録媒体を搬送供給することを特徴とする記録装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、本発明は、記録媒体である受像シートと転写シートとを重ね合わせて収容する記録媒体用簡易カセット及びこれを用いる記録装置に関し、特に、記録媒体の記録装置への装填を容易に且つ確実に行う技術に関する。

【0002】

【従来の技術】

画像や文字などの記録には、記録媒体である受像シートと、同じく記録媒体である転写シートとを重ね合わせて記録用回転ドラムに固定し、レーザ露光する記録方法がある。この場合、受像シートは受像層を上にして記録用回転ドラムに巻き付けられ、転写シートはトナー層を受像層に重ね合わせて記録用回転ドラムに巻き付けられる。レーザ露光を行う記録ヘッドは、記録用回転ドラムの回転軸と平行な方向に往復動される。記録ヘッドからはレーザ光が出射され、複数スポットとして照射される。この記録方法では、記録用回転ドラムの回転方向が主走査方向とされ、記録ヘッドの移動方向が副走査方向とされる。従って、記録用回転ドラムの回転運動と、記録ヘッドの直線移動とを組み合わせることにより、スポットを転写シート上に走査し、所望の画像を受像シートへ転写することができる。

【0003】

ところで、上記した記録方法には、一種の受像シートRと、K（ブラック）、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）等の複数種の転写シートが使用される。従来、これらの記録媒体は、同種のものが20～100枚程度積層されて梱包される。例えば25枚程度の梱包形態の場合には、図19に示すように、同種の記録媒体1が、ポリエチレン等の合成樹脂製袋等からなる梱包材3によつて真空梱包され、さらにその外側がボール紙製の化粧箱5等により梱包された包

装体7となる。

【0004】

この包装体7は、記録装置へのセットに先立って、受像シートR、転写シートK、C、M、Yの合計5種類のものが開梱される。開梱された記録媒体は、記録順とは逆の順で、記録装置の記録媒体用簡易カセットに人手によってセットされる。即ち、開梱された複数の包装体7から、まず、Y色の転写シートを1枚取り出し、カセットにセットする。同様にM色の転写シート、C色の転写シート、K色の転写シート、受像シートをカセットにセットする。従って、カセットには、上層から受像シート、K、C、M、Yの順で複数の記録媒体が積層状態にセットされる。なお、複数組の記録媒体をセットする場合には、これらを繰り返してセットすることとなる。

【0005】

このようにして、記録媒体が記録順に取り付けられたカセット9は、図20に示す記録装置11に装着される。記録装置11にはピックアップ機構13が設けられ、ピックアップ機構13は例えばゴムローラ或いは吸引・吸着機構によって、カセット9の中から、最上層の記録媒体を1枚だけ取り上げる機能を有している。このピックアップ機構13によって1枚だけ取り上げられた記録媒体は、図示しないガイド板やローラ等を使用した搬送機構を通過した後、記録用回転ドラム15に固定される。

【0006】

即ち、記録装置11が動作されると、まず、受像シートが記録用回転ドラム15に供給搬送される。このとき、受像シートの受像層は、記録用回転ドラム15の外側に向くように固定される。次いで、記録装置11は、K色の転写シートを、記録用回転ドラム15上の受像シート上に供給搬送する。このとき、転写シートのトナー層は、受像シートの受像層に対面する向きで固定される。つまり、受像シートの受像層と、転写シートのトナー層は、重ね合わせられることになる。次いで、記録装置11は、図示しない記録ヘッドによって、記録用回転ドラム15に固定されたこれら記録媒体に記録を行う。K色のデータによる記録が終了した後、K色の転写シートのみを記録用回転ドラム15から剥離し、記録装置11

外に排出する。これら記録媒体の供給・記録・排出動作を、C、M、Y色の転写シートについて同様に実施することで、所望のカラー画像が受像シートへ転写される。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来の包装体は、同種類の記録媒体ごとに梱包されているため、記録媒体をカセットにセットするときには、開梱した受像シートR、転写シートK、C、M、Yのそれぞれの包装体から記録媒体を一枚ずつ取り出し、カセットにセットする必要があった。このため、記録媒体は、それが外部環境に晒されることになり、異物の付着する確率が高まり、異物が付着すれば記録が正常に行えず、白抜けやリングムラ等の画像欠陥が生じた。

【0008】

そして、それぞれの記録媒体は、人手によって記録順と逆順でカセットにセットされなければならなかったため、セットの順番に間違えの生じ易い問題があった。即ち、本来、RKCMYの順番でセットされなければならないのに対し、RKCYMの順番でミス・セットがなされると、MデータでY色が記録され、YデータでM色が記録されるミス記録が発生する。このようなミス記録が生じれば、折角記録された受像シートが使用できず、記録媒体及び記録時間が無駄となつた。また、本来、RKCMYの順番で記録されなければならないものに対し、KRCYMの順番で記録が行われた場合には、転写シートKが受像シートとして扱われてしまい、記録が行えず、結局この場合にも記録媒体及び記録時間が無駄となつた。

【0009】

本発明は上記状況に鑑みてなされたもので、記録媒体の種類ごとの開梱や、記録媒体種類1枚ずつの人手によるセットが不要になる記録媒体用簡易カセット及びこれを用いる記録装置を提供し、異物付着による画像欠陥や、人為的ミスによる色の記録順間違えの防止を図ることを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するための本発明に係る請求項1記載の記録媒体用簡易カセットは、記録媒体支持部材に搬送供給される受像シートと、該受像シートの受像層にトナー層が重なり合う方向となって前記記録媒体支持部材へ順次搬送供給される複数の転写シートとが収容された記録媒体用簡易カセットであって、前記記録媒体を、記録媒体支持部材に搬送供給される順に積層して収容することを特徴とする。

【0011】

この記録媒体用簡易カセットでは、記録媒体が記録媒体支持部材に搬送供給される順に積層して収容されることで、積層された記録媒体が記録装置に対して一度にセット可能になる。即ち、一枚一枚を人手によってセットする必要がなくなり、これにより、個々の記録媒体全てに触れることがなくなり、記録媒体への異物の付着が少なくなり、異物の付着に伴う画像欠陥が低減される。また、人為的なミスによる色の記録順間違いが生じなくなり、さらに、複数の記録媒体が一度にセットされるので、記録媒体の供給作業が省力化される。

【0012】

請求項2記載の記録媒体用簡易カセットは、記録媒体支持部材に供給される順に積層された一組の記録媒体が、複数組積層されて収容されたことを特徴とする。

【0013】

この記録媒体用簡易カセットでは、一組の記録媒体が複数組積層され、記録装置に同時にセット可能になる。即ち、第1組の受像シートが記録媒体支持部材に搬送供給され、この受像シートに対して各色の転写シートによって記録が終了し、記録の完了した第1組目の受像シートが排出されると、第2の組の受像シートが再び記録媒体支持部材に搬送供給され、この受像シートに対して各色の転写シートによって記録がなされる。つまり、一組目以降は、記録媒体をセットすることなく記録が可能となり、組数分の記録が記録媒体をセットせずに複数回連続して行えるようになる。

【0014】

請求項3記載の記録媒体用簡易カセットは、前記受像シートの受像層と、前記

転写シートのトナー層とが相反する方向となって積層されていることを特徴とする。

【0015】

この記録媒体用簡易カセットでは、最上層の受像シートが記録媒体支持部材に搬送供給され、次いで、転写シートが記録媒体支持部材に搬送供給された際、受像シートの受像層に、転写シートのトナー層が重ね合わされることになる。つまり、受像シートと転写シートの搬送過程において、受像シート若しくは転写シートのいずれか一方を表裏反転せずに、受像層とトナー層との重ね合わせが可能になる。これにより、記録媒体供給搬路における迅速な供給が可能になる。

【0016】

請求項4記載の記録媒体用簡易カセットは、前記記録媒体の相互間に、ダミーシートが挿入されていることを特徴とする。

【0017】

この記録媒体用簡易カセットでは、記録媒体の相互間に挿まれたダミーシートが、所謂、合紙として作用して滑りが良くなり、記録媒体同士の場合の滑り難さが改善される。従って、記録媒体が上層から取り出される際、下層の記録媒体に対して剥離性が良好となって、一枚ずつの取り出しが確実に可能になる。これにより、記録媒体の重送や、密着による取り出し不能などの供給トラブルが低減される。また、記録媒体がダミーシートによって外傷から保護される。

【0018】

請求項5記載の記録媒体用簡易カセットは、前記記録媒体を収容するカセット本体と、該カセット本体に接触する前記受像シートの受像層、及び前記転写シートのトナー層との間に、ダミーシートが挿入されていることを特徴とする。

【0019】

この記録媒体用簡易カセットでは、受像シートの受像層、及び転写シートのトナー層が、カセット本体に接触しなくなる。これにより、受像層及びトナー層の状態が変化したり、受像層及びトナー層と、カセット本体との科学的物質移行により受像層及びトナー層の物性が変化したり、受像層及びトナー層の表面粗さが変化したりすることがなくなる。

【0020】

請求項6記載の記録媒体用簡易カセットは、前記ダミーシートが、少なくとも前記記録媒体の一边側からはみ出していることを特徴とする。

【0021】

この記録媒体用簡易カセットでは、記録媒体の一边側からダミーシートがはみ出されることで、このダミーシートがはみ出し部分で、カセット本体に固定可能となる。即ち、ダミーシートが固定されることで、記録媒体の取り出し時におけるダミーシートの同時排出が防止可能になる。

【0022】

請求項7記載の記録媒体用簡易カセットは、記録装置に設けられた記録媒体のピックアップ機構に当接する側とは反対側の辺から、前記ダミーシートがはみ出していることを特徴とする。

【0023】

この記録媒体用簡易カセットでは、ピックアップ機構と反対側の記録媒体の辺からダミーシートがはみ出され、このはみ出し部が記録装置側（又は記録媒体カセット側）に固定可能になる。従って、記録媒体の取り出し時に、ピックアップ機構による取り出し方向に対してダミーシートを確実に保持することが可能になり、ダミーシートの同時排出を効率良く防止することができる。

【0024】

請求項8記載の記録媒体用簡易カセットは、前記記録装置に設けられたピックアップ機構の当接する記録媒体の一边側が、前記ダミーシートよりはみ出していることを特徴とする

【0025】

この記録媒体用簡易カセットでは、ピックアップ機構の当接する記録媒体の一边側がダミーシートよりはみ出されるため、このはみ出し部がピックアップ機構による取り出しに際して、ダミーシートの同時排出を防止しつつ、確実な記録媒体の取り出しが可能となる。

【0026】

請求項9記載の記録媒体用簡易カセットは、前記ダミーシートのはみ出し部分

を固定するためのダミーシート固定部材が、カセット本体に設けられていることを特徴とする。

【0027】

この記録媒体用簡易カセットでは、ダミーシートのはみ出し部分を固定するためのダミーシート固定部材がカセット本体に設けられることで、記録媒体の取り出し時におけるダミーシートの同時排出が確実に防止される。

【0028】

請求項10記載の記録媒体用簡易カセットは、前記カセット本体内での記録媒体の移動を規制する緩衝材が、前記ダミーシートとカセット本体との間に挿入されていることを特徴とする。

【0029】

この記録媒体用簡易カセットでは、輸送中、慣性によるカセット本体内での記録媒体の移動が緩衝材によって規制され、記録媒体がカセット本体と接触することがない。これにより、記録媒体の傷つきや、擦れ等によって発生した塵の記録媒体への付着が防止される。

【0030】

請求項11記載の記録媒体用簡易カセットは、前記緩衝材が、無塵性スポンジであることを特徴とする。

【0031】

この記録媒体用簡易カセットでは、緩衝材が無塵性スポンジからなり、慣性、衝撃等によって記録媒体が緩衝材に摺接しても、緩衝材からの発塵が最小限に抑止される。また、緩衝材が弾性を有するので、カセット本体と記録媒体との間の複数箇所に、所定量収縮させた緩衝材が挿入されることで、衝撃による記録媒体の損傷も防止可能になる。

【0032】

請求項12記載の記録媒体用簡易カセットは、前記カセット本体が、金属からなることを特徴とする。

【0033】

この記録媒体用簡易カセットでは、搬送時に、積層状態の記録媒体同士が相互

に移動して静電気が発生した場合においても、この静電気が金属からなるカセット本体に逃がされ、帯電し難くなる。これにより、静電吸着力が防止され、記録媒体取り出し時の密着による重送が低減される。

【0034】

請求項13記載の記録媒体用簡易カセットは、前記カセット本体が、ボール紙からなることを特徴とする。

【0035】

この記録媒体用簡易カセットでは、カセット本体がボール紙からなることで、材料費が安価となる。また、加工容易となることで、製造コストも安価となる。さらに、再生紙等の利用も可能になることから、資源の有効利用が可能になり、環境への悪影響も少なくすることができる。

【0036】

請求項14記載の記録媒体用簡易カセットは、前記記録媒体を収容したカセット本体が、外装シートによって包装されていることを特徴とする。

【0037】

この記録媒体用簡易カセットでは、記録媒体を収容したカセット本体が外装シートによって包装され、外部からのカセット本体内への塵、光等の進入が遮断され、塵の付着や、作用膜の変質等が抑止され、長期に亘って記録媒体の良好な品質維持が可能になる。

【0038】

請求項15記載の記録媒体用簡易カセットは、前記外装シートに包装されたカセット本体の外方が、さらに化粧箱によって梱包されたことを特徴とする。

【0039】

この記録媒体用簡易カセットでは、外装シートによって塵、光等の進入が遮断されたカセット本体が、さらに化粧箱によって梱包され、外装シート及びカセット本体が物理的な損傷から保護される。また、突起等を含む不定形状のカセット本体の場合においても、外形が直方体等の定形状となり、積み上げ等が容易となって、搬送性、収容性が向上する。

【0040】

請求項16記載の記録媒体用簡易カセットは、前記記録媒体の取り出し用に開口されたカセット本体の開口部が、開閉蓋によって開閉自在に覆われていることを特徴とする。

【0041】

この記録媒体用簡易カセットでは、記録媒体取り出し用の開口部が開閉蓋によって開閉自在に覆われ、開閉蓋を開くことにより、密閉状態のカセット本体からの記録媒体の取り出しが容易に可能になる。また、密閉状態から瞬時に取り出し可能状態への移行が可能になるので、開口部からの塵の進入する確率が低減される。

【0042】

請求項17記載の記録媒体用簡易カセットは、前記開閉蓋がカセット本体から脱着自在に設けられていることを特徴とする。

【0043】

この記録媒体用簡易カセットでは、開閉蓋がカセット本体から脱着自在に構成されることで、記録媒体用簡易カセットを記録装置に取り付ける際に邪魔となる開閉蓋を、装着前に取り外すことができ、カセットの装着作業を容易にできる。

【0044】

請求項18記載の記録装置は、記録媒体を支持しつつ移送する記録媒体支持部材と、前記移送方向とは直交する方向に移動され前記記録媒体にレーザ光スポットを照射する記録ヘッドとを備えた記録装置において、前記記録媒体が前記記録媒体支持部材に供給搬送される順に前記記録媒体を積層して収容した記録媒体用簡易カセットを支持する簡易カセット取付台を備え、該簡易カセット取付台に取付けた前記記録媒体用簡易カセットから前記記録媒体支持部材へ記録媒体を搬送供給することを特徴とする。

【0045】

この記録装置では、供給順に記録媒体を積層収容した記録媒体用簡易カセットが記録装置に直接的に着脱可能となることで、記録媒体を従来の装置カセット等にセットする必要もなくなり、ワンタッチで、供給順に積層された記録媒体のセットが可能になる。これにより、記録媒体への異物の付着が少なくなり、色の記

録順間違いも生じなくなる上、記録媒体の供給作業が大幅に省力化される。

【0046】

【発明の実施の形態】

以下、本発明に係る記録媒体用簡易カセット及びこれを用いる記録装置の好適な実施の形態を図面を参照して詳細に説明する。

図1は本発明に係る記録装置の概略的な構成を示す全体構成図、図2は本発明に係る記録装置の記録ヘッド部の構成を示す構成図、図3は記録媒体の断面図である。

【0047】

記録媒体を記録する記録装置には、例えば、記録媒体を回転ドラム周面に取り付けて回転ドラムを回転駆動する一方、記録ヘッドをドラム軸方向に移動させて、又は記録ヘッドからのレーザ光スポットをドラム軸方向に移動させて記録を行う回転方式、或いは、記録媒体を搬送ローラ等により記録位置に搬送する一方、記録ヘッドを搬送方向に直交する方向に移動させて、又は記録ヘッドからのレーザ光スポットを搬送方向に直交する方向に移動させて記録を行う自走方式等がある。上記記録装置において、記録媒体支持部材は、回転方式の場合では記録用回転ドラムに相当し、自走方式の場合ではニップローラに相当することになるが、ここでは前者の記録用回転ドラムを使用する場合を一例として説明する。

【0048】

図1及び図2に示すように、記録装置21の記録部には記録媒体支持部材である記録用回転ドラム23が設けられている。記録用回転ドラム23は中空の円筒形状を有しており、図2に示すフレーム25に回転自在に保持されている。記録装置21においては、この記録用回転ドラム23の回転方向が主走査方向となる。記録用回転ドラム23はモータの回転軸に連結されてモータによって回転駆動される。

【0049】

さらに、記録部には記録ヘッド27が設けられている。記録ヘッド27はレーザ光Lbを出射する。このレーザ光Lbが照射された位置の転写シート33のトナー層は、受像シート31の表面に転写される。また、記録ヘッド27は、図示

しない駆動機構によって、ガイドレール35に沿って記録用回転ドラム23の回転軸に平行な方向に直線的に移動する。この移動方向が副走査方向となる。従つて、記録用回転ドラム23の回転運動と記録ヘッド27の直線移動との組合せによって、受像シート31を覆う転写シート33上の所望の位置をレーザ露光することが可能である。よって、描画用のレーザ光Lbで転写シート33上を走査して、画像情報に基づいて対応する位置のみをレーザ露光することにより、所望の画像を受像シート31に転写することができる。

【0050】

受像シート31は、図3に示すように、支持層31a、クッション層31b、及び受像層31cを有しており、支持層31aの上にクッション層31b及び受像層31cが順次積層されている。支持層31aとしては、PET(ポリエチレンテレフタレート)ベース、TAC(トリアセチルセルロース)ベース、PEN(ポリエチレンナフタレート)ベースなどを用いることができる。受像層31cは、転写されるトナーを受けとめる働きを有する。クッション層31bは、トナーが複数重ねられたりするときに、段差を吸収する働きを有する。

【0051】

また、転写シート33は、支持層33a、光熱変換層33b、及びトナー層33cを有しており、支持層33aの上に光熱変換層33b、トナー層33cが順次積層されている。支持層33aは、レーザ光が透過する物であれば一般的な支持体材料(例えば上記した支持層31aと同じ支持体材料)から任意なものを選択できる。光熱変換層33bは、レーザエネルギーを熱に変換する働きを有する。光熱変換層33bは、カーボン、黒色物質、赤外吸収色素、特定波長吸収物質など光エネルギーを熱エネルギーに変換する物質であれば一般的な光熱変換材料から任意なものを選択できる。トナー層33cとしては、例えば、ブラック(K)、シアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)の各色が用意され、場合によっては金色や銀色等の特色と呼ばれる色も用意される。

【0052】

本実施形態の記録装置21の記録媒体装着部にはカセット用取付台37が設けられ、このカセット用取付台37には受像シート31や転写シート33である記

録媒体を収容した記録媒体用簡易カセット41が直接的に着脱可能になっている。記録装置21は、このカセット用取付台37に記録媒体用簡易カセット41が載置されることで、記録媒体用簡易カセット41から記録媒体を取り出して記録装置21の記録媒体支持部材23に供給搬送している。

【0053】

図4に記録媒体用簡易カセットの断面図を示した。この記録媒体用簡易カセット41には、記録媒体である受像シート31及び転写シート33が記録用回転ドラム23に供給される順に積層されて収容されている。例えば、記録用回転ドラム23への供給搬送順が、受像シートR、K転写シート、C転写シート、M転写シート、Y転写シートのとき、上層よりRKCMYの順に積層されている。記録装置21に装着された記録媒体用簡易カセット41は、記録装置21に設けられたピックアップ機構22により、最上層の記録媒体から取り出され、記録装置21内へ供給されるようになる。なお、図ではそれぞれの記録媒体同士の間に間隔を開けて描いてあるが、実際には記録媒体同士は接触して積層されている。

【0054】

このように、記録装置21には、カセット装着部にカセット用取付台37が設けられるので、記録装置21の内方に記録媒体用簡易カセット41を収容するスペースを確保する必要がなくなり、記録装置21の小型化が図られる

【0055】

記録媒体用簡易カセット41のカセット本体41aは、金属からなることが好ましく、カセット本体41aを金属製とすれば、搬送時に、積層状態の記録媒体同士が相互に移動して静電気が発生した場合においても、この静電気を金属からなるカセット本体41aに逃がし、帯電し難くすることができる。これにより、静電吸着力が防止でき、記録媒体取り出し時の密着による重送が低減される。また、カセット本体41aをボール紙製とすれば、材料費を安価にすることができる。また、加工容易となるので、製造コストも安価となる。さらに、再生紙等の利用も可能になることから、資源の有効利用が可能になり、環境への悪影響も少なくすることができる。

【0056】

また、記録媒体用簡易カセット41が強度の低いものであっても、堅牢なカセット用取付台37に載置されることにより、安定して確実に記録装置21に固定される。従って、ボール紙、或いはプラスチックからなる比較的低強度で製作された記録媒体用簡易カセット41であっても使用可能となる。

【0057】

このカセット本体41aには、記録媒体の取り出し用に開口部50が形成される。開口部50は、開閉自在な開閉蓋53によって覆われており、この開閉蓋53は、カセット本体41aに対して着脱自在な構造でもよく、また、スライド機構によって開閉自在となるものであってもよい。開閉蓋53を着脱自在な構成とした場合には、記録装置21に記録媒体用簡易カセット41を取り付ける際に邪魔となる開閉蓋を、装着前に取り外すことができ、カセット41の装着作業を容易にできる。またカセットの構造を簡単にできる。そして、スライド機構を設けた構成とした場合には、記録装置21への装着動作に伴う自動開閉式とすることが可能になる。このように、カセット本体41aの開口部50が開閉蓋53によって開閉自在に覆われるので、開閉蓋53を開くことのみによって、密閉状態のカセット本体41aからの記録媒体の取り出しが容易に可能になる。また、密閉状態から瞬時に取り出し可能状態への移行が可能になるので、開口部50からの塵の進入する確率を低減することができる。

【0058】

また、記録媒体用簡易カセット41は、図5に示すように、記録用回転ドラム23に供給される順に積層された一組（1セット）の記録媒体R K C M Yが、複数組（この例では3組）積層されたものであってもよい。なお、セット数は整数となる。各セットにおける記録媒体の積層順（即ち、記録順）としては、例えば、R K Y M C、R Y M C K、R C M Y K等の種々が挙げられるが、最初はRであることが必須となる。

【0059】

ここで、記録媒体用簡易カセット41に収容される記録媒体は、受像シート31の受像層31cと、転写シート33のトナー層33cとが相反する方向となるようにして積層されている。相反する方向であるので、図6に示すように受像層

31c (R膜面) が上を向きトナー層33c (K, C, M, Y膜面) が下を向く場合と、図7に示すように受像層31c が下を向きトナー層33c が上を向く場合とが存在する。受像層31c が上を向きトナー層33c が下を向く場合には、記録媒体は、図8 (a) に示すように、記録用回転ドラム23 の外周上部から供給される。従って、最上層の受像シート31 が記録用回転ドラム23 に固定され、次いで、転写シート33 が記録用回転ドラム23 に供給された際、受像シート31 の受像層31c に、転写シート33 のトナー層33c が重ね合わされることになる。

【0060】

また、受像層31c が下を向きトナー層33c が上を向く場合には、記録媒体は、図8 (b) に示すように、記録用回転ドラム23 の外周下部から供給される。従って、最上層の受像シート31 が記録用回転ドラム23 に固定され、次いで、転写シート33 が記録用回転ドラム23 に供給された際、受像シート31 の受像層31c に、転写シート33 のトナー層33c が重ね合わされることになる。

【0061】

次に、上述の記録媒体用カセットから、収容された受像シート及びK, C, M, Yの4色の転写シートを引き出して、所望のカラー画像を受像シート31 上に形成する手順を図9に基づいて説明する。

図1に示すように、記録媒体用簡易カセット41 (51, 61, 71, 81, 91も同様) が記録装置21 に装着されると、ピックアップ機構22 が動作する。このように、図9に示すステップ1において、最上層の受像シート31 を記録用回転ドラム23 に対して供給する。

次にステップ2において、Kの転写シート33 を記録用回転ドラム23 に対して供給する。

次のステップ3では、加熱・加圧して転写シート33 をラミネートする。このラミネート工程は、省略される場合もある。

【0062】

次のステップ4では、予め与えられた画像データに基づいて、受像シート31 上に画像が転写出力される。ここで、与えられた画像データは、各色ごとの画像

にさらに色分解されており、レーザ露光は、色分解された各色ごとの画像データに基づいて行われる。これにより、受像シート31に転写シート33のトナーインクが転写され、受像シート31上に像が形成される。

【0063】

そして、ステップ5において、(K)転写シート33のみが記録用回転ドラム23から剥離される。ここで、全ての色の転写シート33に対して、転写が終了したかどうかを判断する。そして、別の種類の転写シート33の供給が必要な場合は、上記のステップ2~5までの処理を繰り返す。つまり、他のC, M, Yの各色の転写シート33について、ステップ6~17までの各動作が繰り返される。その結果、4色の転写シート33のトナーインクKCMYが1枚の受像シート31に転写され、受像シート31上にカラー画像が形成される。

その後、受像シート31が、記録用回転ドラム23から剥離される。剥離された受像シート31は、別設の画像転写部で受像シート31上のトナーインクが任意の印刷用紙にさらに転写される。これによって、校正用のカラー印刷が行われる。

【0064】

上記の本実施形態の記録装置21によれば、次のような有用な効果を奏する。

即ち、記録媒体を記録用回転ドラム23に供給される順に積層して記録媒体用簡易カセットに収容したので、梱包を開封した後、記録媒体をカセット本体41aごと記録装置21に対して一度にセットでき、一枚一枚を人手によってセットする必要がなくなる。この結果、記録媒体への異物の付着が少なくなるので、異物による画像欠陥を減らすことができる。また、人為的ミスによる色の記録順間違いを防止することができる。さらに、複数の記録媒体が一度にセットできるので、記録媒体供給作業を省力化することができる。

【0065】

また、最上層に受像シート31が位置するので、記録装置21に供給される際、最上層の受像シート31が記録用回転ドラム23に供給される。即ち、最初に記録用回転ドラム23に固定されなければならない受像シート31の供給が常に可能になる。これにより、記録用回転ドラム23に固定された一つの受像シート

31に対して、各色の転写シート33が選択的に重ね合わせ可能になる。

【0066】

そして、1セットの記録媒体が複数セット積層される場合には、記録装置21に複数セットの記録媒体が同時にセット可能になる。即ち、第1セットの受像シート31が記録用回転ドラム23に固定され、この受像シート31に対して各色の転写シート33によって記録が終了し、記録の完了した第1セット目の受像シート31が排出されると、第2セットの受像シート31が再び記録用回転ドラム23に固定され、この受像シート31に対して各色の転写シート33によって記録がなされる。つまり、1セット目以降は、記録媒体をセットすることなく記録が可能となり、セット数分のカラー画像記録を、記録媒体を人手によってセットせずに複数回行うことができる。これにより、記録媒体のセット作業工数を削減して省力化を図ることができる。

【0067】

また、受像シート31の受像層31cと、転写シート33のトナー層33cとが相反する方向となって積層されているので、受像シート31と転写シート33の搬送過程において、受像シート31若しくは転写シート33のいずれか一方を表裏反転せずに、受像層31cとトナー層33cとの重ね合わせが可能になる。この結果、記録媒体供給搬路における記録媒体の迅速な供給を可能にできる。なお、この記録媒体用簡易カセット41において、複数セットの記録媒体が積層される場合には、受像シート31は受像層31cが全て同一方向となるように積層され、転写シート33はトナー層33cが全て同一方向となるように積層される。

【0068】

また、記録装置21は、記録媒体用簡易カセット41が直接的に着脱可能になるので、記録媒体を従来の装置カセット等にセットする必要もなくなり、ワンタッチで供給順に積層された記録媒体のセットが可能になる。これにより、記録媒体への異物の付着が少なくなり、色の記録順間違いも生じなくなる上、記録媒体の供給作業を大幅に省力化することができる。

【0069】

次に、本発明に係る記録媒体用簡易カセットの第2実施形態を説明する。

図10に本実施形態の記録媒体用簡易カセット51の断面図を示すように、本実施形態においては、カセット本体51a内に収容された記録媒体の相互間にダミーシート47が挟まれている。ダミーシート47の材質としては紙（合紙：あいし）を使用することができる。このダミーシート47の表面粗さはRa=1~50μmが好ましく、厚さは10~300μm程度が好適となる。

このような構成とすることで、記録媒体の相互間に挟まれたダミーシート47が、所謂、合紙として作用して滑りが良くなり、記録媒体同士が接触する場合と比較して滑り難さが改善される。従って、記録媒体を上層から取り出す際、下層の記録媒体に対して剥離性が良好となって、一枚ずつの取り出しが確実に可能になる。これにより、記録媒体の重送や、密着による取り出し不能等の供給トラブルを低減させることができる。また、記録媒体がダミーシート47によって外傷から保護される。

【0070】

次に、本発明に係る記録媒体用簡易カセットの第3実施形態を説明する。

図11に本実施形態の記録媒体用簡易カセットの断面図を示すように、本実施形態においては、記録媒体用簡易カセット61のカセット本体61aに収容される記録媒体は、記録用回転ドラム23に供給される順（例えば、R K C M Y順）に積層される。また、記録媒体の相互間にダミーシート47が挟まれ、且つこのダミーシート47が、少なくとも記録媒体の一辺側からはみ出されている。

この記録媒体用簡易カセット61によれば、記録媒体の一辺側からダミーシート47がはみ出されることで、このダミーシート47のはみ出し部分で、カセット本体61a側に固定可能となる。即ち、ダミーシート47が固定されることで、記録媒体の取り出し時におけるダミーシート47の同時排出を防止することができる。この場合、一辺部全てがはみ出している必要はなく、一部を固定できればよい程度、はみ出していくればよい。

【0071】

また、記録媒体用簡易カセット61は、図12に示すように、記録装置21に設けられた記録媒体のピックアップ機構22に当接する側とは反対側の辺から、

ダミーシート47がはみ出していることが好ましい。このような向きでダミーシート47をはみ出させることで、はみ出し部が容易にカセット本体61a側に挟み込み等により固定可能になる。従って、記録媒体の取り出し時に、ピックアップ機構22による取り出し力がダミーシート47に加えられて引き出され事が防止され、ダミーシート47の同時排出を防止することができる。

【0072】

さらに、記録媒体用簡易カセット61は、ダミーシート47のはみ出し部分に、ダミーシート47をカセット本体61a側に係合固定するための係合孔65が穿設されていることが好ましい。この記録媒体用簡易カセットによれば、係合孔65に対し、カセット本体側に設けた図示しない係合手段等を係合させることにより、ダミーシート47のカセット本体61a側への固定を容易且つ確実にすることができる。

【0073】

次に、本発明に係る記録媒体用簡易カセットの第4実施形態を説明する。

図13に本実施形態の記録媒体用簡易カセットの断面図を示すように、本実施形態における記録媒体用簡易カセット71は、記録用回転ドラム23に供給される順（例えば、R K C M Y順）に積層された記録媒体の相互間にダミーシート47が挟まれ、且つ記録媒体に設けられたピックアップ機構22の当接する記録媒体の一辺側が、ダミーシート47よりはみ出されている。

【0074】

これにより、積層された記録媒体の最上層に記録装置21のピックアップ機構22が当接されて記録媒体が取り出される際、ピックアップ機構22の押下部直下にダミーシート47が存在しない。従って、最上層の記録媒体のみにピックアップ機構22による回転力と加圧力が作用し、最上層の記録媒体と次層のダミーシート47との重送が確実に防止されることになる。

【0075】

また、同一面積の記録媒体とダミーシート47とを積層した場合、図14に示すように、記録媒体がはみ出す反対側の辺部からは、逆にダミーシート47がはみ出すことになる。なお、ダミーシート47のはみ出し方向は、特にピックアッ

ラジカル22と相対する側に限らず、例えば図15に示すように両脇方向であってもよい。この場合には、記録媒体の両脇からはみ出したダミーシート47の両脇部をカセット本体71aに固定してもよい。

【0076】

次に、本発明に係る記録媒体用簡易カセットの第5実施形態を説明する。

図16に本実施形態の記録媒体用簡易カセットの断面図を示した。本実施形態の記録媒体用簡易カセット81は、記録用回転ドラム23に供給される順（例えば、RKCMY順）に記録媒体が積層され、この記録媒体の最上層と最下層のもの、即ち、受像シート31の受像層31cと転写シート33のトナー層33cと、カセット本体81aとの間にダミーシート47が挟まれている。

この記録媒体用簡易カセット81によれば、最上層の受像シート31の受像層31c、及び最下層の転写シート33のトナー層33cが、カセット本体81aに直接接触することがなくなる。これにより、受像層31c及びトナー層33cが、カセット本体81aの内面によって物性や性状が変化することがなくなる。

【0077】

次に、本発明に係る記録媒体用簡易カセットの第6実施形態を説明する。

図17に本実施形態の記録媒体用簡易カセットを示した。本実施形態の記録媒体の記録媒体用簡易カセット91は、前述の第1、第3、第4、第5実施形態の記録用簡易カセットを組み合わせて構成したものである。

【0078】

記録媒体用簡易カセット91には、カセット本体91aと受像シート31の受像層31cとの間、及びカセット本体91aと転写シート33のトナー層33cとの間にダミーシート47が挟まれている。記録媒体の間に挟入されたダミーシート47は、少なくとも記録媒体の一辺側からはみ出されており、カセット本体91aには、このダミーシート47のはみ出し部分を固定するためのダミーシート固定部材49が設けられている。ダミーシート固定部材49は、例えばダミーシート47に穿設された少なくとも1箇所の孔にカセット本体91aに立設されたピンを挿通させる構成とすることができ、他にもダミーシート47を挟み込んで固定する構成とすることができる。

【0079】

この構成とすることで、ダミーシート47のはみ出し部分によって、ダミーシート47がカセット本体91aに固定可能となる。即ち、ダミーシート47が固定されることで、記録媒体の取り出し時におけるダミーシート47の同時排出を防止することができる。この場合、一辺部全てがはみ出している必要はなく、一部を固定できればよい程度はみ出していくればよい。

【0080】

また、カセット本体91aの内面には図示しない緩衝材が設けられ、緩衝材はカセット本体91a内での記録媒体の移動を規制する。この緩衝材は、カセット本体91aに接するダミーシート47とカセット本体91aとの間に挿入されることが好ましい。この緩衝材としては、例えば塵等が発生し難い無塵性スポンジが好適に用いられる。

【0081】

このように、記録媒体の移動を規制する緩衝材をダミーシート47とカセット本体91aとの間に挿入することで、搬送中の慣性によるカセット本体91a内での記録媒体の移動を緩衝材によって規制・緩和でき、記録媒体がカセット本体91aと擦れ合うことが防止され、接触することも確実になくすことができる。以て、記録媒体の傷付きや、擦れ等によって発生した塵の記録媒体への付着を防止することができる。そして、緩衝材として無塵性スポンジを用いることで、緩衝材からの発塵が最小限に抑止される。また、緩衝材が弾性を有するので、カセット本体91aとダミーシート47との間に、所定量収縮させた緩衝材が挿入されることで、衝撃による記録媒体の損傷も防止可能になる。

【0082】

上記のように記録媒体を収容した記録媒体用簡易カセット91は、図18に示すように、外装シート（ポリエチレン等の合成樹脂製袋等からなる梱包材43）によって真空梱包され、さらにその外側がボール紙製の化粧箱46等により梱包される。

【0083】

このように、本実施形態の記録媒体用簡易カセット91は、カセット本体91

aを梱包材43によって包装したので、外部からのカセット本体91a内への塵、光等の進入が遮断され、塵の付着や、作用膜（受像層31c或いはトナー層33c）の変質等が抑止され、長期に亘って記録媒体の良好な品質維持を可能にすることができる。そして、梱包材43に包装されたカセット本体91aの外方をさらに化粧箱46によって梱包すれば、梱包材43及びカセット本体91aが物理的な損傷から保護される。また、突起等を含む不定形状のカセット本体91aの場合においても、外形が直方体等の定形状となり、積み上げ等が容易となって、搬送性、収容性を向上させることができる。

【0084】

【発明の効果】

以上詳細に説明したように、本発明に係る記録媒体用簡易カセットによれば、記録媒体を記録媒体支持部材に供給される順に積層して収容したので、記録装置に装着することによって、積層された記録媒体を記録装置に対して一度にセットでき、一枚一枚を入手によってセットする必要がなくなる。この結果、記録媒体への異物の付着が少なくなるので、異物による画像欠陥を減らすことができる。また、人為的ミスによる色の記録順間違いを防止することができる。さらに、複数の記録媒体が一度にセットできるので、記録媒体供給作業を省力化することができる。

【0085】

また、本発明に係る記録装置によれば、記録媒体支持部材に供給される順に記録媒体を積層収容した記録媒体用簡易カセットが、直接的に着脱されるので、収容状態の記録媒体に手を触れることなく、直接記録装置にセットすることができる。この結果、記録媒体への異物の付着が少なく、欠陥の無い高品位な画像が記録できると共に、人為的ミスによる色の記録順間違いを防止でき。しかも、複数の記録媒体が一度にセットできるので、記録媒体供給作業を省力化することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明に係る記録装置の概略的な構成を示す全体構成図である。

【図2】

本発明に係る記録装置の記録ヘッド部の構成を示す構成図である。

【図3】

記録媒体の断面図である。

【図4】

第1実施形態の記録媒体用簡易カセットの断面図である。

【図5】

記録用回転ドラムに供給される順に積層された一組（1セット）の記録媒体が複数組（この例では3組）積層された様子を示す図である。

【図6】

受像層（R膜面）が上を向きトナー層（K, C, M, Y膜面）が下を向く場合を示す図である。

【図7】

受像層が下を向きトナー層が上を向く場合を示す図である。

【図8】

記録媒体の記録用回転ドラムへの供給方向を説明する図である。

【図9】

記録媒体への記録手順を示す説明図である。

【図10】

第2実施形態の記録媒体用簡易カセットの断面図である。

【図11】

第3実施形態の記録媒体用簡易カセットの断面図である。

【図12】

記録装置のピックアップ機構に当接する側とは反対側の辺からダミーシートがはみ出している様子を示す図である。

【図13】

第4実施形態の記録媒体用簡易カセットの断面図である。

【図14】

記録媒体がはみ出す反対側の辺部からダミーシートがはみ出した様子を示す図

である。

【図15】

記録媒体の両脇方向にダミーシートがはみ出した様子を示す図である。

【図16】

第5実施形態の記録媒体用簡易カセットの断面図である。

【図17】

第6施形態の記録媒体用簡易カセットの断面図である。

【図18】

記録媒体用簡易カセットが外装シートからなる梱包材によって真空梱包され、さらにその外側がボール紙製の化粧箱等により梱包された様子を示す図である。

【図19】

従来の記録媒体の包装体の断面図である。

【図20】

従来の記録媒体用簡易カセットが装着される記録装置の構成図である。

【符号の説明】

2 1 記録装置

2 2 ピックアップ機構

2 3 記録用回転ドラム（記録媒体支持部材）

2 7 記録ヘッド

3 1 受像シート

3 1 c 受像層

3 1 a 支持層

3 3 転写シート

3 3 c トナー層

3 3 a 支持層

3 7 カセット用取付台

4 1 a, 5 1 a, 6 1 a, 7 1 a, 8 1 a, 9 1 a カセット本体

4 1, 5 1, 6 1, 7 1, 8 1, 9 1 記録媒体用簡易カセット

4 3 梱包材

4 6 化粧箱

4 7 ダミーシート

4 9 ダミーシート固定部材

5 0 開口部

5 3 開閉蓋

6 5 係合孔

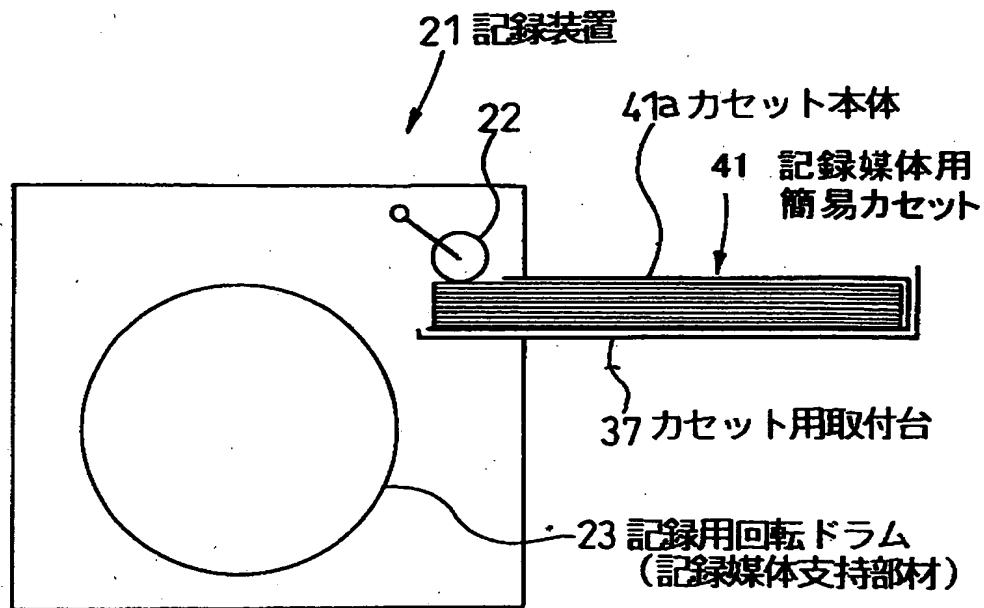
L b レーザ光

R 受像シート

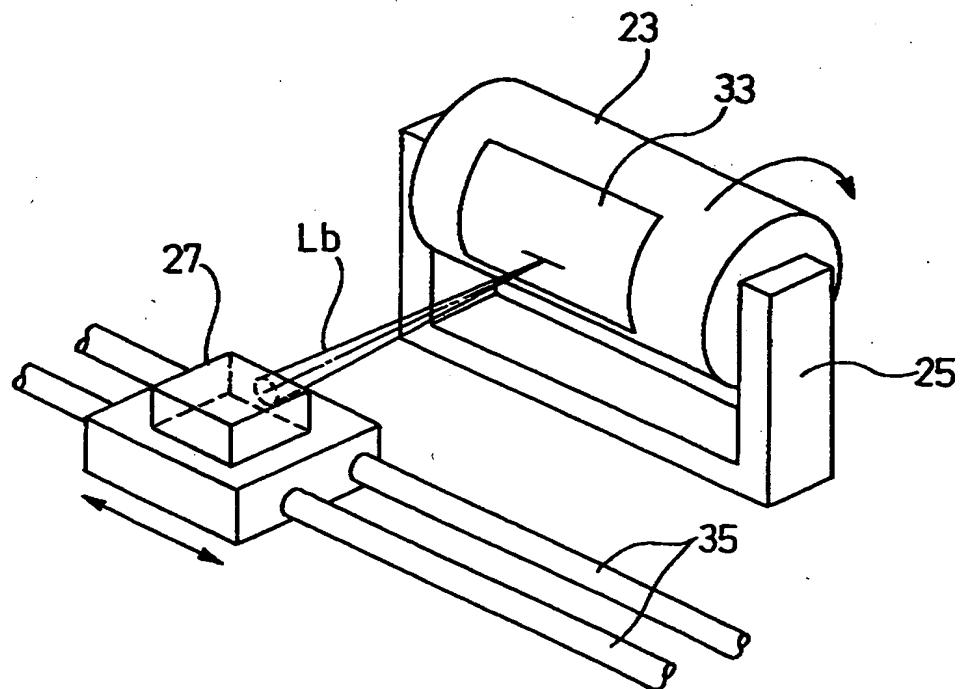
【書類名】

図面

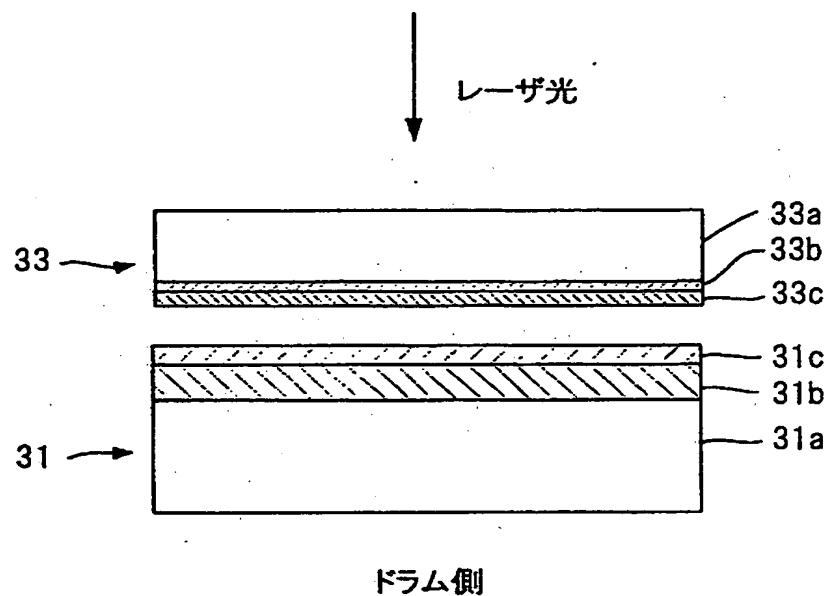
【図1】



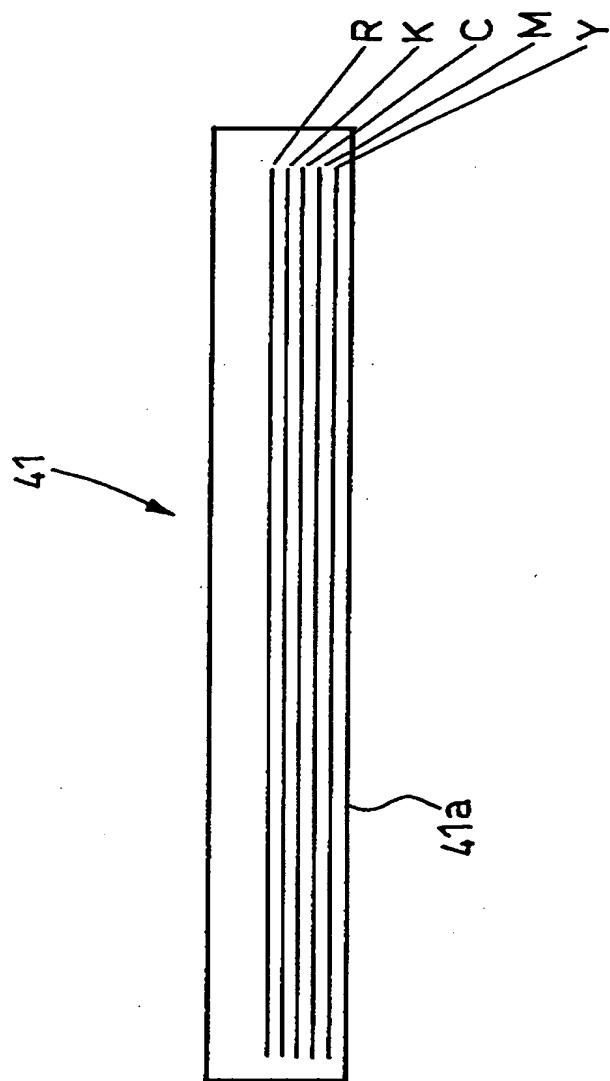
【図2】



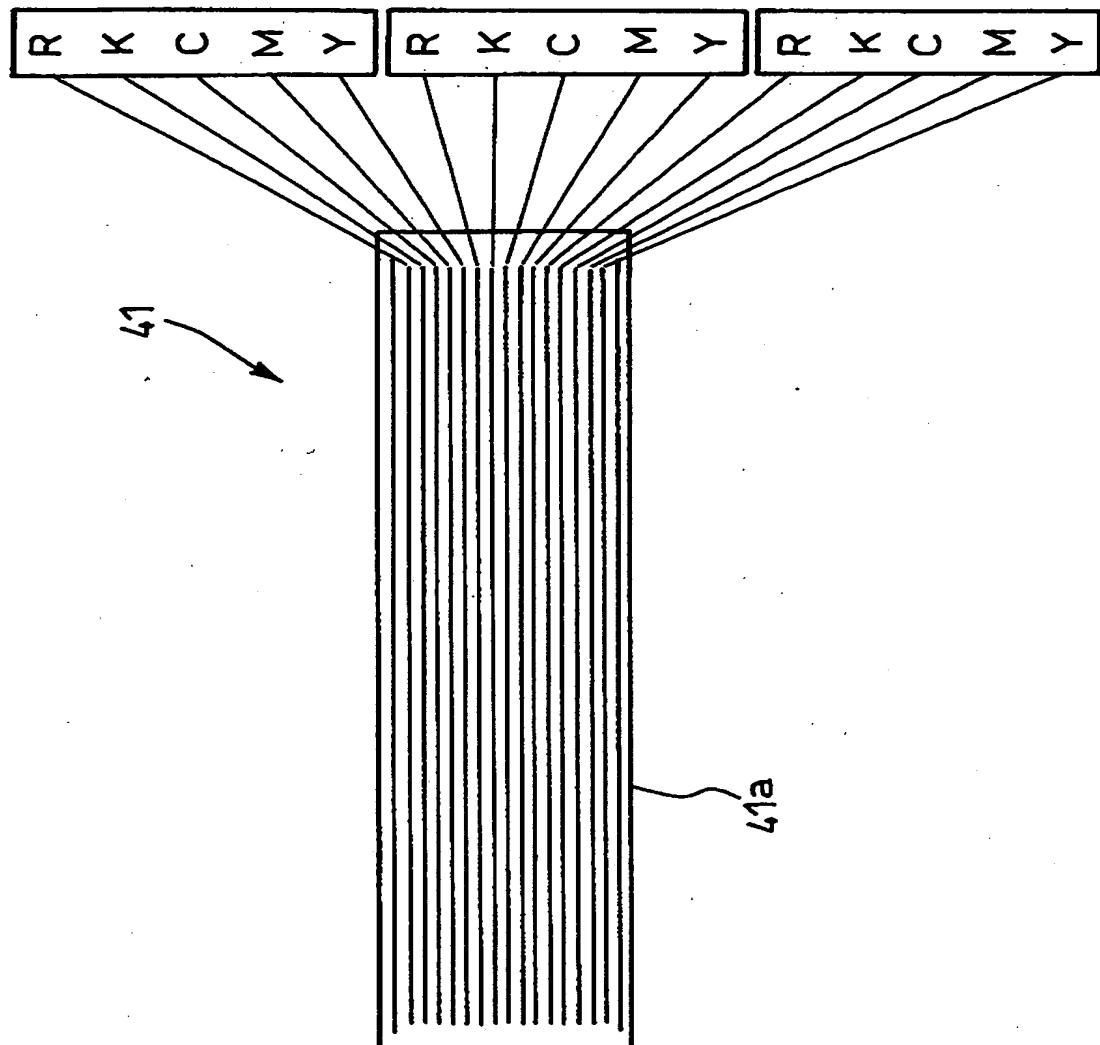
【図3】



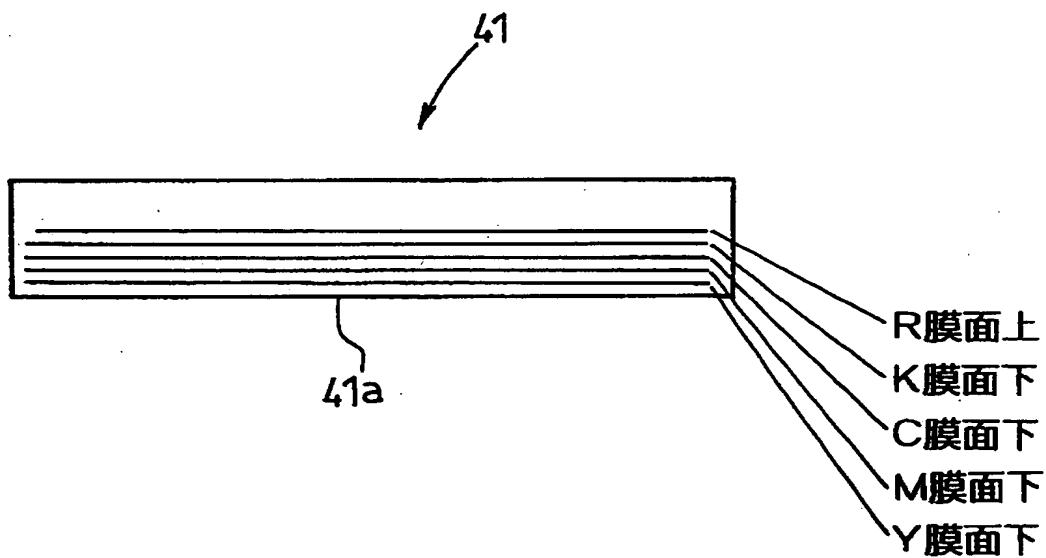
【図4】



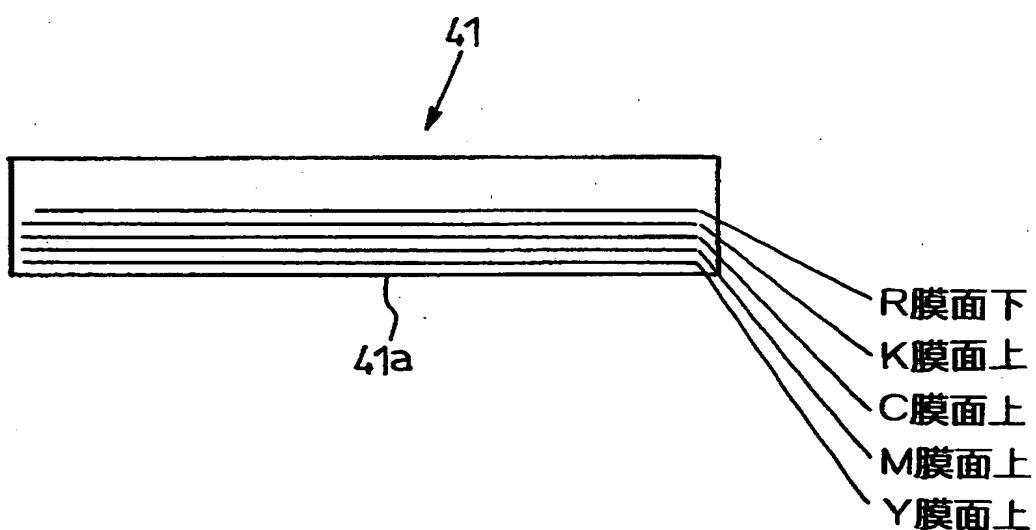
【図5】



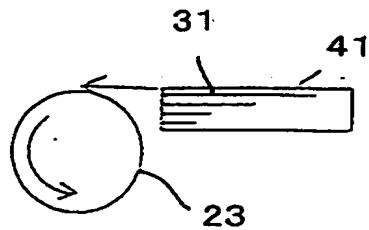
【図6】



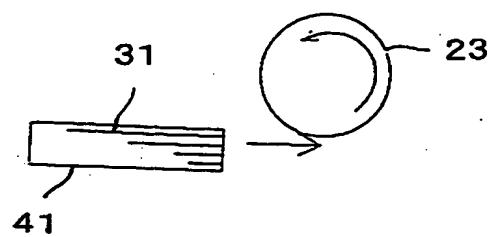
【図7】



【図8】



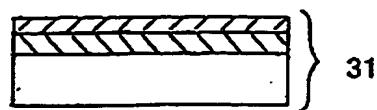
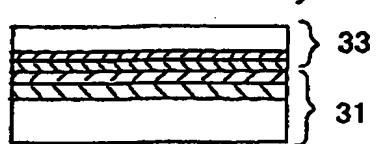
(a)



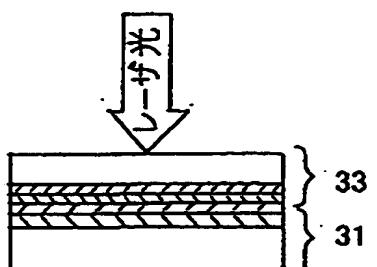
(b)

【図9】

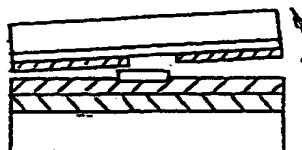
1. 受像シートをドラムに巻きつけ

2. 転写シート巻きつけ
(真空密着等による密着)

3. Kデータでレーザ記録



4. K剥離



5. C 転写シート巻きつけ

6. Cデータでレーザ記録

7. C剥離

8. M 転写シート巻きつけ

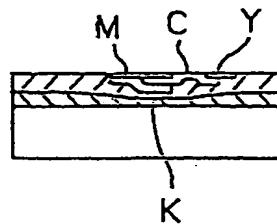
9. Mデータでレーザ記録

10. M剥離

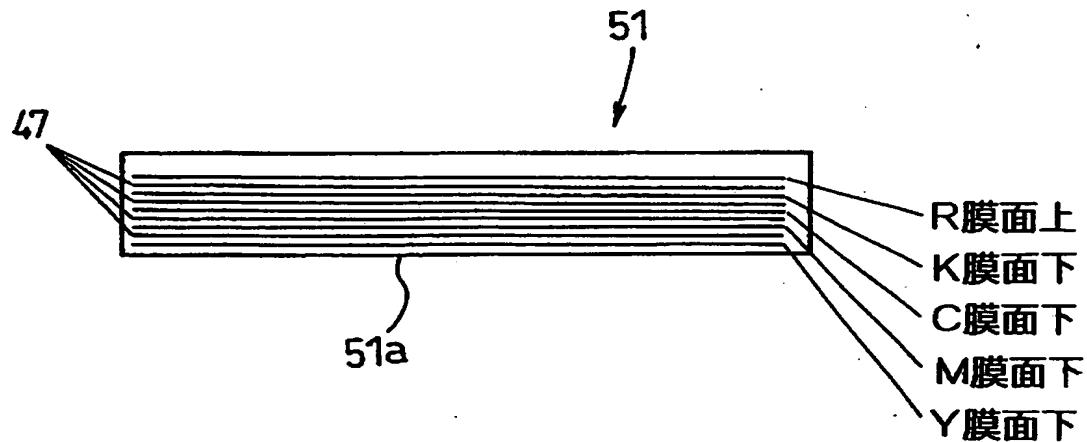
11. Y 転写シート巻きつけ

12. Yデータでレーザ記録

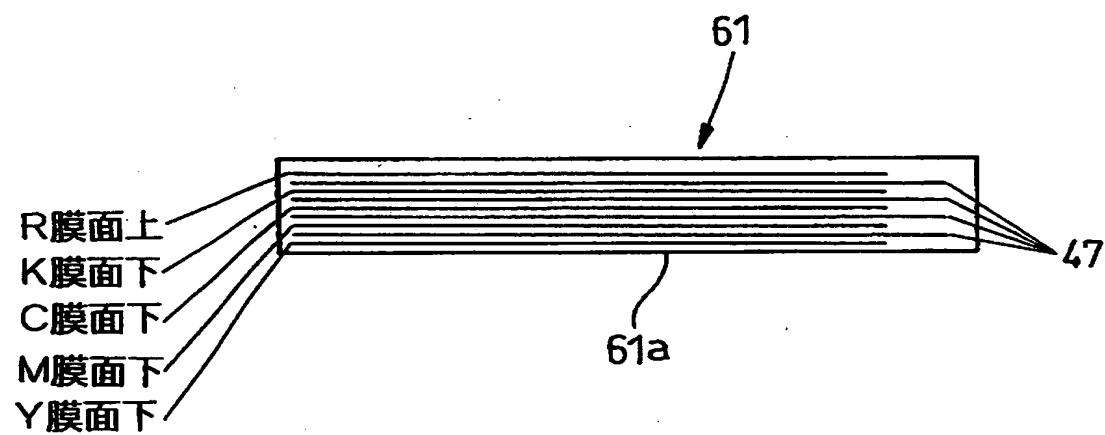
13. Y剥離



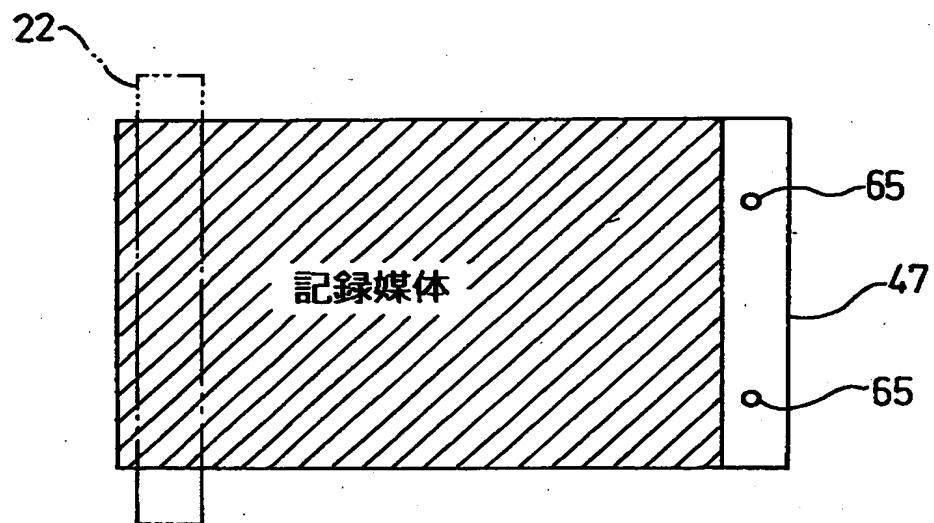
【図10】



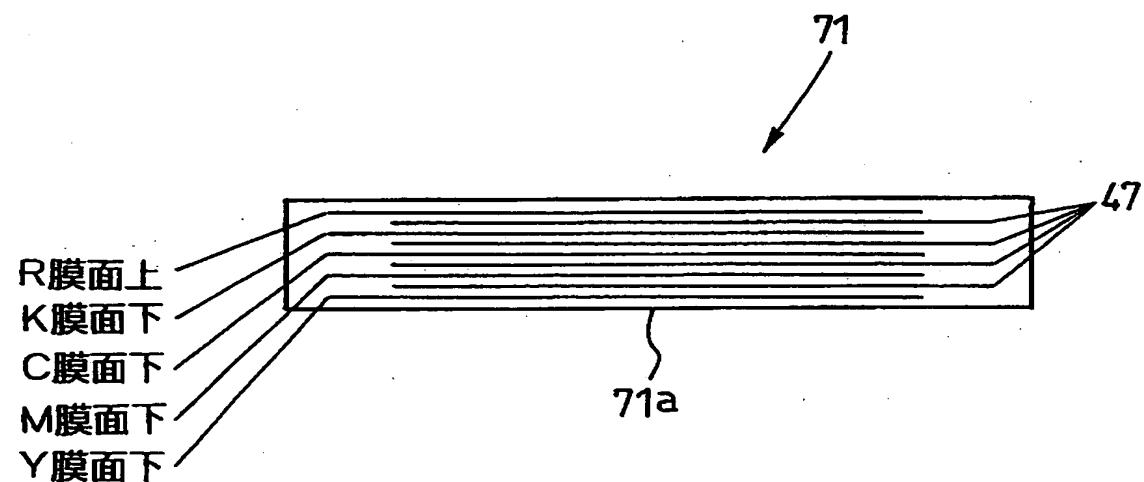
【図11】



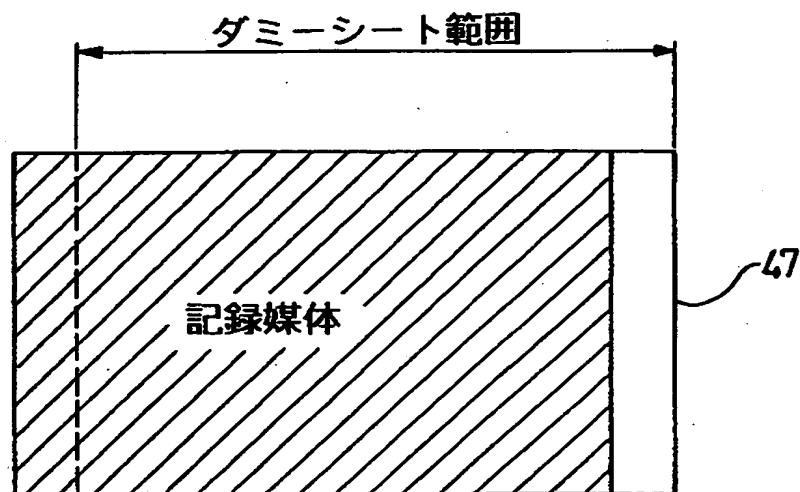
【図12】



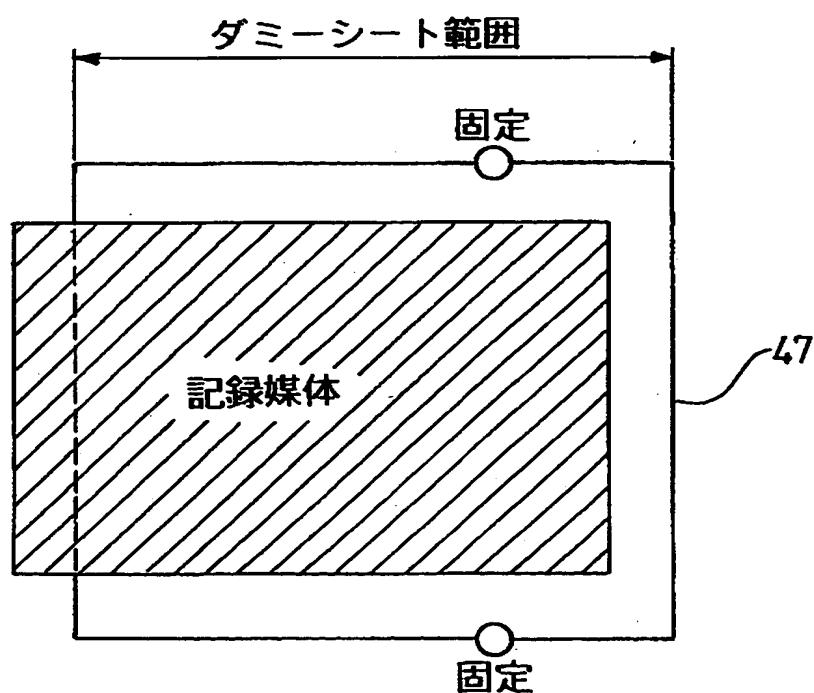
【図13】



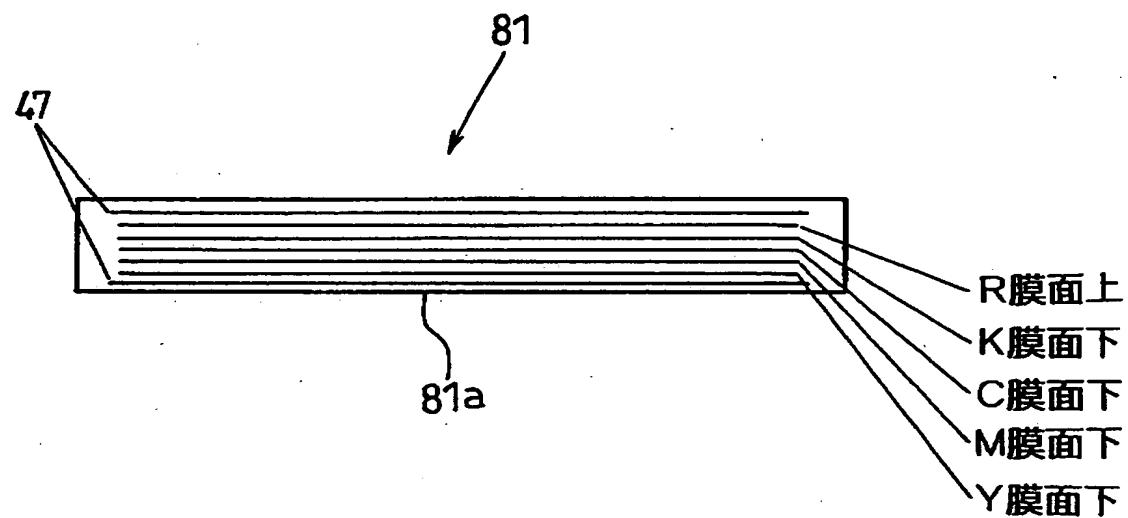
【図14】



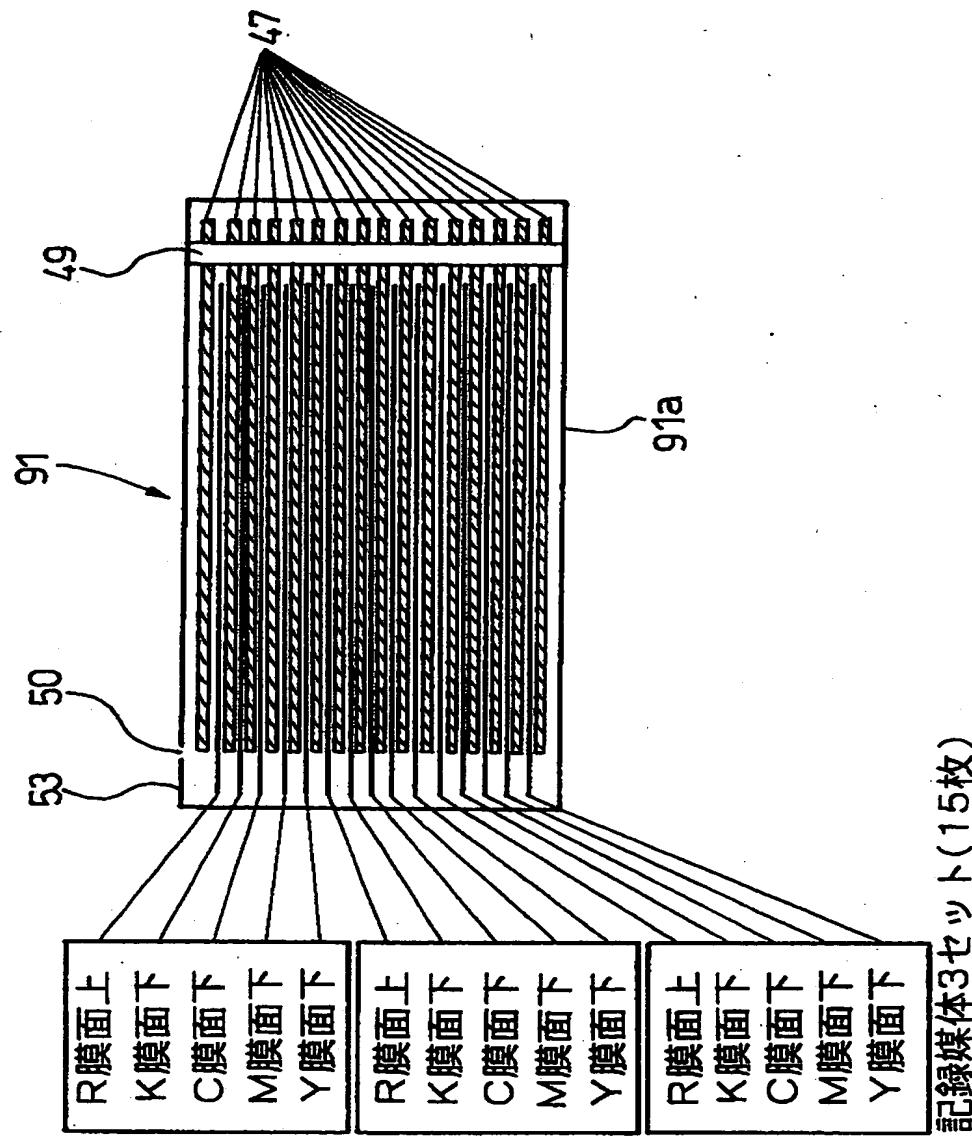
【図15】



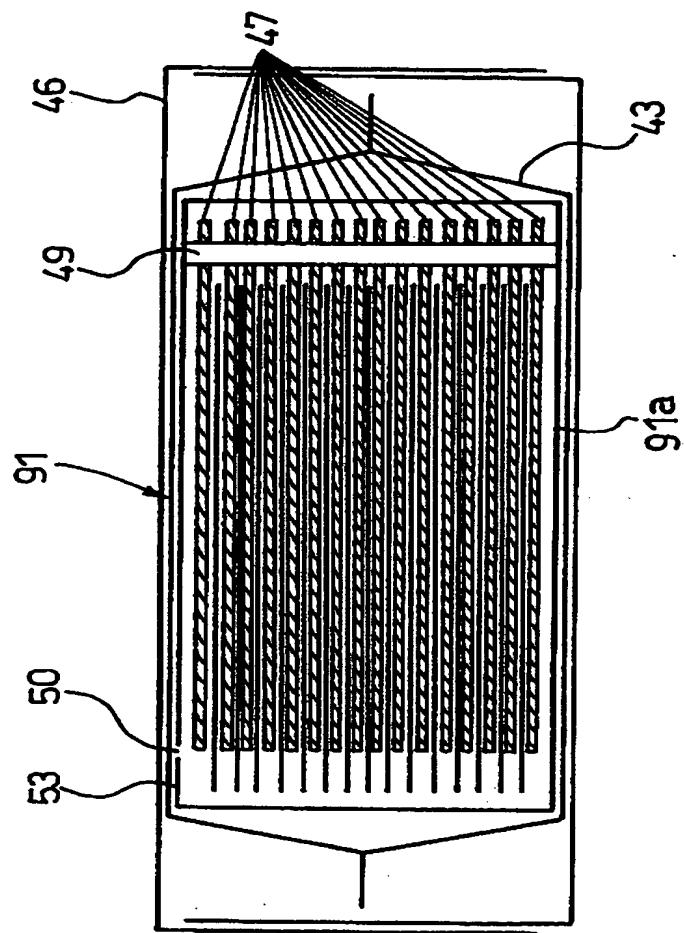
【図16】



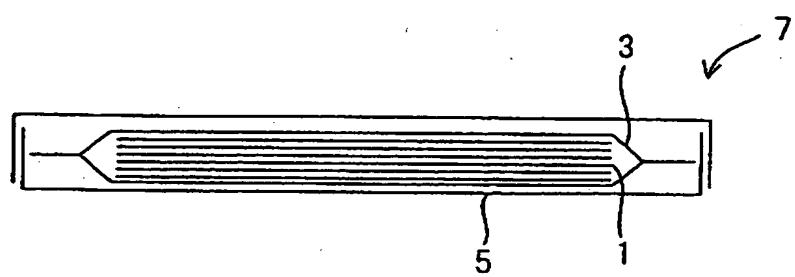
【図17】



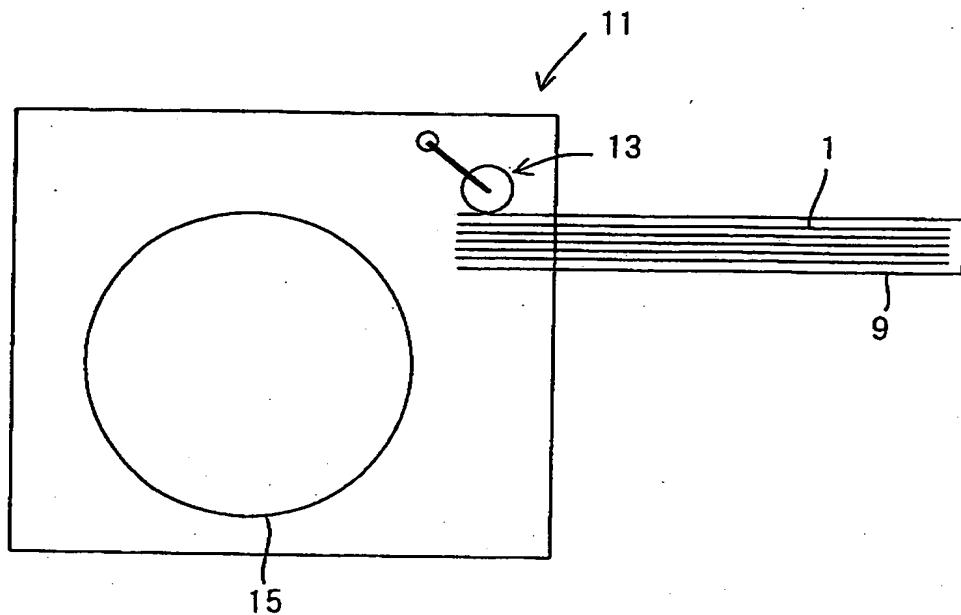
【図18】



【図19】



【図20】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 記録媒体の種類ごとの開梱や、記録媒体種類1枚ずつの人手によるセットが不要になり、異物付着による画像欠陥や、人為的ミスによる色の記録順間違えを防止できる記録媒体用簡易カセット及び記録装置を提供する。

【解決手段】 記録媒体支持部材23に搬送供給される受像シートと、該受像シートの受像層にトナー層が重なり合う方向となって記録媒体支持部材23へ順次搬送供給される複数の転写シートとが収容された記録媒体用簡易カセット41であって、記録媒体を、記録媒体支持部材23に搬送供給される順に積層して収容するようにし、この記録媒体用簡易カセット41を直接的に着脱できるように構成した。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日 1990年 8月14日

[変更理由] 新規登録

住 所 神奈川県南足柄市中沼210番地

氏 名 富士写真フィルム株式会社